

コンピテンシーに基づく教育
(COMPETENCY-BASED EDUCATION)
の可能性

Asuka Academy 理事・放送大学教授

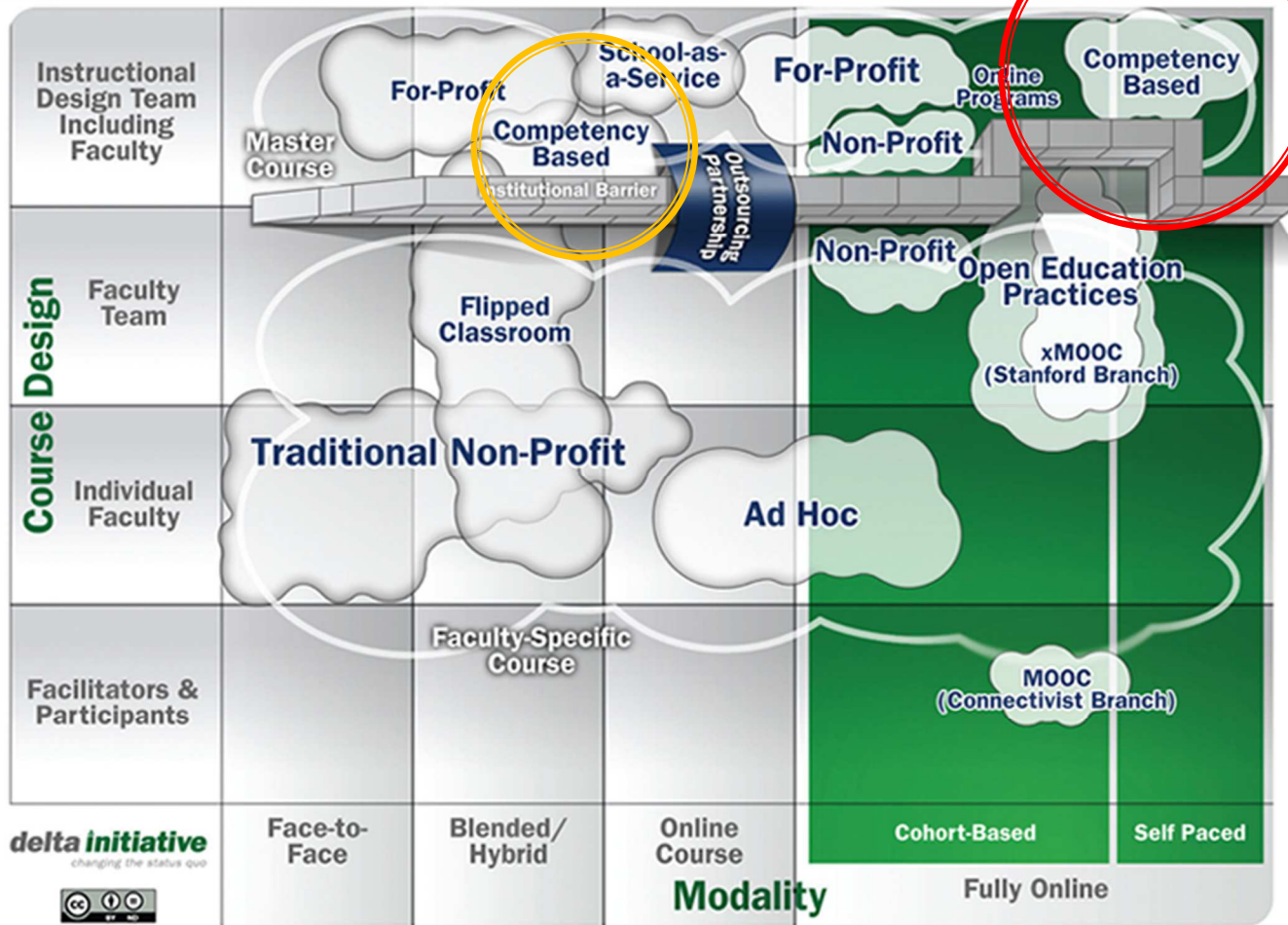
青木 久美子



コンピテンシーに基づく教育（CBE）とは？

- 特定のコンピテンシー（知識・技能・態度）を、学習者に合った方法・期間で修得し、それを認定するもの
- コンピテンシーに基づいて学位や資格を得る
- 教材の提供ではなく、評価(outcome)に重点を置いた教育
- コースを幾つか修了したから資格や学位をえるのではなく、一定のコンピテンシーがあることを証明できたから資格や学位を得る

高等教育モデル



コンピテンシーに基づく教育（CBE）とは？

- 従来の時間を基本とした「単位」という概念からの脱却
- 既存の「分野」「学部」「学科」といった縛りからの脱却
- 従来の公式学習・非公式学習といった区別からの脱却
- 学習者の多様なニーズ、雇用者の多様なニーズに対応
- 教育機関からの押し付けの教育ではなく学習者が自ら選択する道筋
- コンピテンシー枠組みの定義が重要

高等教育における単位制度の歴史

- 19世紀後半に 当時 ハーバード大学学長であった Charles W. Eliot氏により始められた
- 1894年に、National Education Association (米国教育協会) によって認定
- その後、1906年に設立されたカーネギー財団が大学教員の退職金資格に導入
- 20世紀初頭には米国のほぼ全ての大学が導入

コンピテンシーに基づく教育（CBE）とは？

- 従来の時間を基本とした「単位」という概念からの脱却
- 既存の「分野」「学部」「学科」といった縛りからの脱却
- 従来の公式学習・非公式学習といった区別からの脱却
- 従来の「4年制」といった縛りからの脱却
- 教育機関からの押し付けの教育ではなく学習者が自ら選択する道筋
- コンピテンシー枠組みの定義が重要

何故今CBEなのか？

- **教育現場での教育内容と職場で要求される知識・能力とのギャップ**
- **職場で必要な知識・能力の多様化**
- **学習がモジュール化による柔軟性の向上**
- **個々の経験や既存の知識・能力、学習の好み等に
応じた学習プラン**
- **科目の成績よりも何ができるのか（コンピテンシー）
を証明**

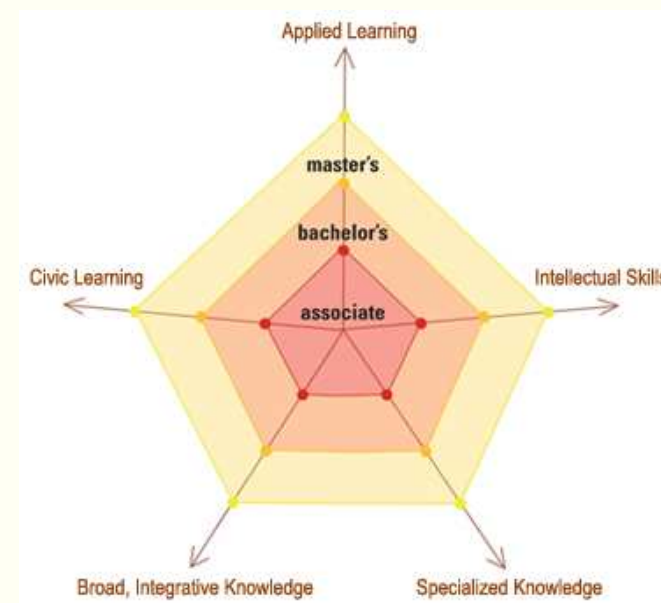
コンピテンシー枠組み

- どのような知識・能力・態度を身につける必要があるのかを定義するもの
- どのようにそれを評価するのも明確にしなければいけない
 - 標準化評価
 - 客観的テスト
 - レポート課題
 - オーセンティックな評価



コンピテンシー枠組みの例：DQF

- Degree Qualifications Profile (学位認定プロフィール)
 - 応用力 (applied learning)
 - 知的能力 (intellectual skills)
 - 専門知識 (specialized knowledge)
 - 教養 (broad knowledge)
 - 市民力 (civic learning)
- Lumina財団が研究支援



Lumina™
FOUNDATION

コンピテンシー枠組みの例：LEAP



- Liberal Education and America's Promise initiative
- Association of American Colleges and Universities (全米大学連盟) が提唱
 - 人間の文化と自然界に関する知識
 - 個人的・社会的責任意識
 - 統合的・応用的学び

先行学習評価

(Prior Learning Assessment, PLA)

- 公式な教育機関から取得した単位・学位のみならず、非公式・不公式で学んだこと（学外で学んだこと、職場研修・経験等）を評価し認定すること
- 既に取得していると評価されたコンピテンシーに関しては、新たに学ぶために時間・学費を費やさなくてもよい
- 新しく学びたいことに時間と労力を集中することができる

CBEにおける教員の役割

- コンピテンシー枠組みの定義
- コンピテンシーを評価する方法の開発
- カリキュラム開発
- 教材の選択・提供
- チュートリアル
- アドバイス
- 評価の実施



CBEにおける評価

- 学習者がどれだけ学習に時間を費やしたか、ではなく、定義されたコンピテンシーをどれだけ修得したかを形成的に評価
- ある意味で、学習者が教員と協働して学習計画を立案・実施し、教員が定期的にフィードバックを授与
- A,B,Cといった評価ではなく、コンピテンシーを取得したかどうかの評価
 - 評価基準に満たないのは「落第」ではなく「未取得」

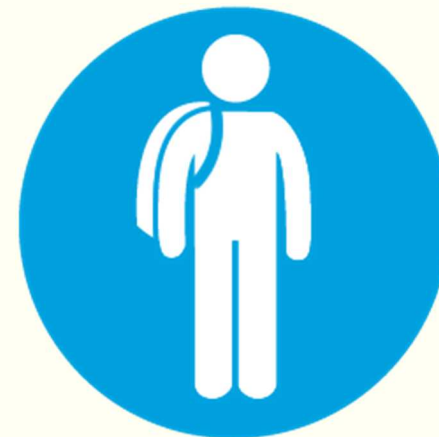
CBEのビジネスモデル

- 1単位いくらといった学費ではなく、期間いくらといった学費
- 教材は既存のものを活用
- 学生サポートに注力



360学習サポート

- CBEにおいて学習者が滞りなく学習を行えるよう、テクニカル・学習計画・チュートリアル・キャリアプランニング・学生生活等、多岐にわたって絶え間なくサポートを提供すること



直接評価 (Direct Assessment) CBE

- 段階的に学生のコンピテンシーを評価して、目標のコンピテンシーに辿り着くようにするプログラム
 - 時間で断ち切って成績として学生の属性とするのではなく、目標のコンピテンシーが達成できるように支援をする
 - どれだけの時間がかかるかは個人差による



米国高等教育政策の動き



▪ スキルのギャップ (skills gap)

- 大学を卒業して得られるスキルと雇用者である企業が必要としているスキルのギャップ

▪ 2013年

- 単位による履修のみならずCBEにも連邦政府学生ローン・奨学金制度を適用すると決定
- 39の州が授業時間 (seat time)ではなくCBEによる単位を認定

CBEを実践している米国の主な大学

- Brandman University
- Capella University
- College for America (Southern New Hampshire University)
- DePaul University
- Empire State College
- Excelsior College
- Northern Arizona University
- Regents College
- University of Maryland University College
- University of Wisconsin System
- Western Governors University

産学連携

- 米国の大学で行われているCBEのほとんどは産学連携
- 例：
 - Patten Universityでは、ある企業が社員に何かを教育したいと考えたとき、大学のインストラクショナルデザイナーチームが企業側と相談して既存の大学の学部・学科の枠に囚われずコンピテンシーを定義



CBEの例 : Western Governors University

- CBEの先駆的大学
 - 1997年に創立
 - 米国ユタ州の州立大学
 - 現在33,000名の学生数



WESTERN
GOVERNORS
UNIVERSITY.
ONLINE. ACCELERATED. AFFORDABLE. ACCREDITED.

CBEの例 : Brandman University

- 生涯教育のプラットフォーム会社である Credlyと提携して**デジタルバッジ**の提供
 - バッジの発行元とリンクしてデジタルバッジの信憑性を保証
 - LinkedInのプロフィール、雇用者の人材システム、又はeポートフォリオ、SNS、ウェブサイト等に表示
- 直接評価の採用
- 他機関とコンソーシアムを形成して経営分野におけるデジタルバッジを標準化する予定



CHAPMAN UNIVERSITY SYSTEM



MOOCとCBE

- これらの大学の多くがMOOCで提供されているコースをCBEプログラムに採択
- MOOCの問題
 - 教育の質 – MOOCの多くが講師が一方的に講義をするもの
 - 学習の継続 – 学習者の自律性が強く要求される
 - 本人認証 – 評価において本人であることの保証が困難である
 - 個別化学習 – 教員の個別フィードバックが困難である
 - 持続性 – 財源を確保することが困難である
 - 単位互換 – 従来の教育制度の枠組みの中におくのが困難

Open Education Alliance

- 米国のMOOCの提供社の一つである**Udacity**がGoogleやAT&Tなど大手企業と連携してコンピテンシーを定義しようとする試み
- 6～12か月で取得できる**Nanodegree**の提供
 - 5コースのシーケンス
 - 学費1か月200ドル
 - Nanodegreeを好成績で修了した人100名に報酬付インターシップの提供

Signature Track

- **米国のMOOCの提供社のCourseraが始めた資格コース**
 - **資格取得のために学習者が必要なもの**
 - ウェブカメラ
 - キーボード（タイピングパターンによる本人認証のため）
 - 写真付き証明書
 - クレジットカードかPayPalによる支払（支払期限の2週間以内のキャンセルはキャンセル料なし。その後のキャンセルは再履修のクーポン）
 - **Signature Trackにサインアップすることにより、コースの成績がプロフィールに記録として残り、ポートフォリオとなる**
 - 各コース終了→Verified Certificate（VC）
 - Specialization全てのコースの（VC）+ Capstone Project
→Specialization Certificate

まとめ

- **CBEの導入が進むと、従来の様々な枠組みが崩れてくる**
 - 大学組織
 - 通学制・通信制の種別
 - 学部・学科組織
 - 学費制度
- **教育側ではなく、学習者が主導権を握る**
- **オンラインで学ぶことが主流となる**
- **大学の存在意義が問われるようになる**